

平成29年度  
事業報告書

概要版



社会福祉法人 玉美福社会

3つの「輪」は、地域社会・利用者・施設を意味し、人の「和」を表現しています。

社会福祉法人 玉美福社会

## 平成 29 年度事業報告

今年度は、介護保険制度改正、介護報酬改定後 3 年目にあたり、次期報酬改定に向けて昨年に引き続き、介護サービスの重点化、効率化、適正化という国の基本方針に添って事業を展開しており、平成 27 年 9 月に開設した総合ケアセンター八戸ノ里向日葵も順調に事業が実施されています。平成 29 年度決算では法人全体では順調に推移していますが、一部事業所においては利用者をあらたに確保して適正な事業収支のバランスが図れるように努めなければなりません。

たいよう学院、古市たいよう学院については、幼保連携型認定こども園に移行し、順調に事業が実施されています。

法人組織のコンプライアンス及びガバナンスの強化のため組織の再編を行い、安定した事業運営に向けた部課長制を取り入れました。また、人材の多様化をめざし E P A 採用等の取り組みや人材確保のための大阪府介護人材育成確保支援事業を活用し階層別研修の開催やプロジェクト会議を立ち上げ職員の育成・定着を実施しました。更に 2019 年度の新卒者採用をめざし、コンサルティング会社の支援を受け新卒者採用に向けた対応も開始しました。尚、継続的な実習生の受け入れも行いました。

施設整備事業としては、職場定着支援助成金を活用し特別養護老人ホーム向日葵4階浴室の個浴を機械浴に変更する工事を行いました。また、東大阪市の採択を受け、玉美苑跡地に地域密着型特別養護老人ホームにショートステイ・グループホームを併設したサテライト向日葵が平成30年3月31日に開設し、4月21日より入居者・利用者の入居案内を開始します。

法人本部としては、平成 29 年 4 月からの「社会福祉法等の一部を改正する法律案」により、定款変更や新定款に基づいた評議員の選任、社会福祉充実残額の試算等に取り組みました。

地域包括支援センター事業において地域包括支援センター向日葵は、平成 29 年度地域包括支援センター事業評価結果で、22ヶ所ある地域包括支援センターで最高得点の評価を得ました。城東区葦・鯉江東地域包括支援センターは、地域包括支援センター運営法人の公募に応募し平成 30 年度から 4 年間継続の受託が決定しました。

地域公益事業として生活困窮者支援事業、中間就労、一時保護、補導委託等の事業に取り組み、地域や関係機関とのネットワークの構築に努めました。そして、次年度においては福祉有償輸送の事業展開を予定しています。

現在、国では厚生労働大臣の下に「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部が設置され、部局横断的に幅広く検討が進められ、次年度には居宅介護支援において障害福祉制度の相談支援専門員との密接な連携が盛り込まれています。

今後も法人として、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる」地域を目指して、高齢・障がい・保育、各事業の充実・向上に取り組み、地域包括ケアの推進・共生社会の実現に向け取り組み、地域社会に貢献していきます。

### 法人本部

#### ○社会福祉法人 玉美福祉会

平成 30 年 3 月 31 日現在、玉美福祉会では、8 施設 41 事業所 373 名の職員が従事しており、社会福祉事業を推進していく上で、法人本部の役割は一層高まっています。

人事管理や人材確保の推進として、教育、人材育成のための雇用助成金の活用、キャリアパス制度の活用、研修体系の確立、研修会、研究大会での事例・研究発表支援、専門資格取得支援、専門性の向上、人事考課システムの確立について取り組みました。

法人評議員会（6 月、2 月、3 月）を 3 回、理事会を 5 回（5 月、6 月、11 月、2 月、3 月）開催しました。主な審議内容は、平成 28 年度事業報告、決算、平成 29 年度収支中間決算、平成 29 年度第 1 次補正収支予算、定款変更、就業規則及び育児・介護休業規定の変更、評議員候補者の選定、施設長の選任、平成 30 年度収支当初予算、定款変更、規定の変更、サテライト向日葵の竣工式等について審議しました。

## 高齢者福祉サービス事業

### 【施設サービス】

#### ○ケアハウス八戸ノ里向日葵

ケアハウスとなり3年目を迎え、自立した生活がいつまでも営まれるよう家族や関係機関の協力を得ながら様々な取り組みを行いました。また、要介護者の入居が多く、未永くケアハウスで暮らしていただくための支援に努めました。

### 【配食サービス】

#### ○配食サービスセンター八戸ノ里向日葵

#### ○配食サービスセンター和光

東大阪市・大阪市の要綱に基づき食事の調理が困難で安否確認・見守りが必要な在宅高齢者に対して、食事の提供を行いました。

制度の見直し等により年々利用者が減少していく傾向にあり、今後の事業継続の検討が必要となっています。

## 介護保険サービス事業

### 【施設サービス】

#### ○高齢者ケアセンター 向日葵

#### ○総合ケアセンター 八戸ノ里向日葵

#### ○サテライト 向日葵

各会議や委員会活動を通して、職員の主体的な活動を支援し、個別ケアの充実、事故予防、身体拘束等の虐待防止、感染症のまん延防止等に留意して介護サービスを提供しました。

特別養護老人ホーム向日葵・八戸ノ里向日葵の事業運営における問題点を具体的に把握し、サービスの質の向上を目指して、事業所の運営管理や提供するサービスについて、第三者評価事業の受審を行いました。

玉美苑跡地に地域密着型特別養護老人ホームにショートステイ・グループホームを併設したサテライト向日葵が平成30年3月31日に開設し、4月21日より入居者・利用者の入居案内を開始します。

### 【居宅サービス】

#### ○介護支援センター和光

#### ○介護支援センター向日葵

#### ○ケアプランセンター八戸ノ里向日葵

居宅介護支援事業所では、各利用者の状況を事業所全体で情報共有できるように、毎朝のミーティングやケース会議を開催しました。担当者が不在時や緊急時にもできるだけ迅速に対応するように取り組みました。

地域包括支援センターから紹介された困難事例に対しても積極的に相談を受け入れ、各関係機関と協働体制のもと、適切な解決の対応ができるように努めました。また、病院からの退院調整依頼や来所にて家族様からの相談に際しても、迅速に対応し、介護保険サービス及び福祉サービスに繋げ、在宅介護支援を実施しました。

尚、特定事業所加算を算定している向日葵・和光は毎週のケース会議を通し、在宅で生活される利用者及び家族の支援についての検討を行いました。このケース会議では、介護保険制度のサービス支援方法やインフォーマルな社会資源の提案、医療的な関わりについての研鑽を行い、事例を通して、介護支援専門員に対して、相談援助技術のスキル向上が図れました。また、24時間オンコールの対応で、営業時間外の

相談業務を実施しました。向日葵において、第 19 回介護支援専門員試験合格者に対する見学・観察実習生を 3 名受け入れました。

また、八戸ノ里向日葵は、同一施設内のケアハウスの入居者や地域の利用者の居宅介護支援を行いました。

## 地域包括支援センター事業

### 〔委託事業〕

- 地域包括支援センター向日葵
- 城東区菫・鯉江東地域包括支援センター

地域包括支援センター向日葵は平成 29 年度地域包括支援センター事業評価結果で、22 ヶ所ある地域包括支援センターで最高得点の評価を得ました。城東区菫・鯉江東地域包括支援センターは地域包括支援センター運営法人の公募に応募し、平成 30 年度から 4 年間継続の受託が決定しました。

向日葵は受託 9 年目の取り組みとして、継続して認知症サポーター養成講座や見守り・声かけ模擬訓練を通行い認知症の理解に努めました。高齢者への生活支援等会議で地域課題を確認し、自助・共助や地域資源の開発に繋がるように支援し、住民が求めている内容を教室に反映しグループ支援に繋げていく取り組みを行いました。また、医師会・歯科医師会・薬剤師会等との連携を強化し、地域での健康寿命の延伸に協力し地域包括支援業務に励みました。

城東区菫・鯉江東の取り組みは、積極的に地域に出向き「顔の見える関係づくり」に関係性を構築するとともにセンターの周知活動を行い、安心して生活ができる地域づくりを進め地域住民や高齢者の在宅生活を支える地域包括ケアへの取り組みとして多職種のネットワークづくりの実施し、認知症の方への支援と高齢者の権利擁護の推進を図りました。また、日常生活支援総合事業の実施に伴い、適切な介護予防ケアマネジメント実践と介護予防に努め、地域包括ケアシステムの構築をめざしました。

### ○蒲生地域総合相談窓口

大阪市城東区蒲生地域の総合相談窓口として来所、訪問、電話等による総合相談を実施しました。また必要に応じて制度の説明や案内等を行うとともに行政、地域包括支援センター、地域関係機関と連携を図り、高齢者が継続して地域で生活できるように支援しました。また、独自の活動として、高殿郵便局で出張相談会を 2 ヶ月に 1 回行いました。郵便局での相談会を継続する事で地域住民に周知を図り、地域包括支援センターの出張相談窓口として機能しました。

## 通所介護事業

- デイサービスセンター 八戸ノ里向日葵
- デイサービスセンター 和光
- デイサービスセンター 向日葵

在宅での生活において、介護等を必要とする高齢者に対して地域に根付いた事業所として、利用者の尊厳の保持・自立支援・自己実現を介護保険制度の基本理念に個々のニーズに対応できる安全な通所サービスの提供を行えるよう努めました。

通所介護計画書においては利用者のニーズに沿ったサービス内容・訓練が提供できるように努め、生活機能・運動機能向上加算の理解と定期的なプログラムの見直しと評価を行い、それに基づく機能訓練と総合事業を実施しました。また、居宅支援事業所に空き状況やプログラム内容の説明・利用の PR を行い、新規利用者獲得への活動を行いました。

## 訪問介護事業

- ホームヘルプサービスセンター 八戸ノ里向日葵
- ホームヘルプサービスセンター 和 光

利用者の現状の把握、理解に努め、サービス内容の適正に努めました。また、法令の知識及遵守の意識を高め質の高いサービスの提供に努め、適正なサービス提供についてや苦情・事故の対応について、ヘルパー会議を月1回開催し勉強会や研修会を行いました。利用者のニーズに沿った自費サービスも積極的に提供しました。

## 訪問看護事業

- 訪問看護ステーション 向日葵

居家で療養生活を送っておられる利用者に訪問看護サービスの提供を行いました。ターミナルケアの利用者においては、家族や関係機関と連携を強化し在宅生活が長く過ごせるように努めました。また、訪問リハビリテーションの利用者が増え看護職員とも日々連携をとりながらアプローチしました。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の初回アセスメントや毎月のモニタリング結果を担当者へ伝え情報や問題の共有を図りました

## 地域密着型サービス

- 定期巡回・随時対応型訪問介護事業所 八戸ノ里向日葵

地域で生活を安全に安心して過ごせるように定期巡回・随時対応の介護支援を行ないました。また、訪問看護事業所と連携し、体調の変化の早期対応や適切な服薬の介助を行ないました。利用者のニーズにあった対応が出来るように個別に細かく計画の見直しを行ないました。

- 夜間対応型訪問介護事業所 八戸ノ里向日葵

今年度も、利用者の確保や契約には繋がりませんでした。次年度においても継続して事業の周知を図ります。

## 障がい福祉サービス事業

- 特定相談支援事業所 八戸ノ里向日葵

安定的な利用者の確保に向けてサービス事業所や委託相談支援事業所、各福祉事務所や保健センター、障がい者支援室との関係維持に努め、障害者支援のための地域別会議に毎回参加する事で事業所認知を進め、新規利用者が安定的供給される体制が取れ一定の利用者数を確保する事ができました。また、関係機関との連携や関係を構築し質の高い相談支援サービスが提供できるよう努めました。

○ホームヘルプサービスセンター 八戸ノ里向日葵

○ホームヘルプサービスセンター 和 光

相談支援事業所や医療・福祉の各担当者と連携して、利用者の障がいの特性を理解し受容や傾聴に努め、訪問介護サービスを提供しました。

また、精神的な安寧に繋がる提言や助言が出来るように利用者の日常の把握に努めました。

## 医療サービス事業

○向日葵診療所

○八戸ノ里向日葵診療所

内科、精神科、皮膚科を標榜し診療を行い、各科及び看護・介護職等と情報を共有し、必要に応じて外部の医療機関との連携を図って、入居者の健康維持、悪化の防止に取り組みました。また、利用者や職員の健康診断を実施し健康管理にも努めました。

レセプトの請求もれの防止、返戻の削減、適正な再請求を実施しました。

## 児童福祉サービス事業

### 保育事業

○たいよう学院

○古市たいよう学院

子どもは豊かに伸びていく可能性をそのうちに秘めています。その子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培います。また、子どもが健康安全で情緒の安定した生活ができる環境を整え、自己を十分に発揮しながら活動できるようにし、健全な心身の発達を図りました。

### 入園児の状況

#### ① 待機児童の受入

たいよう学院

待機児童を少しでも解消するため、平成 29 年度は定員 1 号 15 名、2・3 号 90 名に対し、1 号 7 名、2・3 号 106 名の園児を受け入れました。

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
内訳	1号			0名	2名	4名	1名
	2・3号 標準	8名	12名	18名	14名	20名	13名
	2・3号 短時間	1名	5名	3名	3名	4名	5名

古市たいよう学院

待機児童を少しでも解消するため、平成 29 年度は定員 1 号 3 名、2・3 号 202 名に対し、1 号 6 名、2・3 号 176 名の園児を受け入れました。

内訳		0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
	1 号			1 名	4 名	0 名	1 名
	2・3 号 標準	8 名	31 名	24 名	28 名	32 名	29 名
	2・3 号 短時間	1 名	2 名	7 名	4 名	4 名	6 名

② 一時預かり、地域子育て支援事業の実施

たいよう学院

昨年度に続き、一時保育促進事業、地域子育て支援事業を実施しました。

### 地域公益事業

○社会貢献事業

失業、虐待、DV、疾病などで生活に困っている方を訪問・相談援助しながら必要な制度につなぎ、生活困窮に陥った方への支援に取り組みました。

○就労支援事業

自立に向けた就労支援事業における中間就労をデイサービス向日葵にて 3 名の受入れを行いました。

○補導委託事業

委託先より総合ケアセンター八戸ノ里向日葵にて 4 名の受け入れを行いました。

○一時保護委託事業

今年度の実績はありませんでした。